

# 銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和3年12月20日(月) 南日本新聞

本校，生物生産科の取組が南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

## ナシ振興へ苗木提供

さつま町の薩摩中央高校の生徒が9日、育てたナシの苗木を地元生産者に引き渡した。育苗に手間が掛かる「ジョイント仕立て」用75本で、地元農業の活性化につながればと授業の一環で取り組んできた。前年度に続き2回目。

ジョイント仕立ては接ぎ木による栽培法で、枝切りなどの作業を効率化でき

薩摩中央高

る。生物生産科の生徒が1年かけて水やりや無駄な芽の除去に励み、3.5㍓ほどに育ててきた。

学校であった引き渡し式には約20人が参加した。3年大窪諒さんは「大切に育ててもらえたらうれしい」。苗木を買い取った町ナシ振興会の市山貞篤さん(60)は「立派な苗で本当にありがたい。若い人に関心を持ってもらえるように町内でのナシ栽培をさらに盛り上げたい」と話した。(右田雄二)



育てたナシの苗木を手渡す生徒  
|| さつま町の薩摩中央高校